



だれもが大切にされる学校 令和5年度 第8号 R6.1.11



文責:佐藤

HPはこちらから



大庭小学校だより

あけましておめでとうございます。

新年ですので、(初) 夢のお話です。

みなさまは、初詣に行かれましたか？大庭の八重垣神社や神魂神社はさぞかし多くの人出だったことでしょう。私は近くの神社にお参りました。

その際、いつも「世界が平和でありますように」と願います。世界平和を願いながら、「そのために今、自分ができることをがんばります」と願い・誓うようにしています。

今、私にできること、なすべきことは、よりよい学校教育を行うことです。学校は将来社会を担う人を育成する場ですから、**理想の学校は、将来の平和な世界を築く自立した人を育成するために、現に平和な社会を実現している小さな社会です。**

私の(初) 夢は、上に書いたような小さな平和な社会「だれもが大切にされる学校」の実現です。今年は年初から地震・事故など心を痛めることが多々ありました。メディアで、悲惨な映像などを見ると、お正月だから、おめでたいとは言えない気持ちになります。人間は社会的な動物なので、悲しい気持ちの人がいるとその気持ちに共感し自分も悲しい気持ちになります。自分一人が幸せになることはできないのです。みんなで幸せになることが必要です。

みんなが幸せになるために、将来の平和な社会を築くためにも必要とされる力が、本校でつけたい力としている「**自分も人も大切に作る力**」「**自分で考え表現する力**」「**がんばりぬく力**」と考えています。

例えば、人間関係で何かしらの対立があった時にも、まず自分も相手も大切に思い、折り合いをつけるために自分の考えを伝え、あきらめずがんばりぬくことが大切です。対立を乗り越えて関係を修復・改善する体験は、平和な社会の礎となるはずです。めざすは、対立がないことではなく、一人一人が自分の人生を精いっぱい生きる中でおきる対立をよりよく平和裏に解決していくこと、その力をつけることです。

この「誰もが大切にされる学校」を、職員はもちろん、児童 保護者 地域の方のお力をお借りして実現していきたいと考えています。

保護者の皆様・地域の皆様、ひきつづき、大庭小学校を「自分の学校、地域の学校」とお考えいただき、できる時に・できる方が・できる範囲でのご協力をお願いします。

※ここまで、概ね始業式に話した内容です。願い事は目標だよ、みんなで平和な学校を創っていこうという展開です。



神魂神社 児童作品

昨年、ある保護者の方から、ご自身の職業を生かし、防災の授業に協力できる旨ご連絡いただきました。ありがとうございます。今年度はすでに4年・6年で学習する防災に関する内容は終わっていましたが、来年度はぜひと考えています。

491人の本校児童のご家庭には、何人の職業人がいらっしゃるでしょうか？少なく見ても1000人にはなるでしょう。地域の方を含めれば、膨大な数になるはずです。実際の社会で活躍されている方に学ばせていただける機会は、児童にとって大きな学び、将来の社会生活・自立への希望となるでしょう。学校の学びが実社会に生きることを確認し、より学校での学びへの意欲が高まることも期待されます。みなさまの職業や体験でこの内容であれば、協力できるという情報をお待ちしています。

また、これまで何度も繰り返しましたが、学校が小さな社会であるならば、教える人（教職員）と学ぶ人（児童）だけでなく多様なナナメの関係を作る人がいることが自然です。上に書いた職業人講師といった役割だけではなく、子どもに寄り添うサポーターも引き続き募集中です。昨年末には、2年生が九九の暗唱を聴いていただきました。「できた！」という瞬間を共有することは、学び手・サポーターどちらにとっても幸せです。こちら、機会をみてお声がけします。

それでは、みなさま、どうぞ今年もよろしくお願いいたします。



冬にそなえる

2学期最終日は、急に臨時休業としご心配おかけしました。多々ご配慮いただいたことと思います。ありがとうございました。今年は暖冬という予報ですが、天候は人知を超えます。昨年度の大雪の時は本当に参りました。これから本格的な冬を迎え、急に臨時休業等にしなければならないことがあるかもしれません。できるだけ、早めの情報提供、判断に努めますが、いざというときの対応を事前にご準備いただくと幸いです。学校は、子どもの学習権を保障するためにできる限り開くべきものと考えていますが、命にはかえられません。ご理解ください。

最後に昇降口近くに掲示してある人権標語を紹介します。優しい気持ちになれますね。

